

ワンヘルス教育とは

ワンヘルスの理念に基づいて、教科・領域等を効果的にカリキュラム・マネジメントする中で、児童生徒の発達段階に応じて、理解・体験する機会を設定し、自己の行動変容を促す教育的アプローチの一つです。

※ワンヘルスの理念：人の健康・動物の健康・環境の健全性を一つの健康として捉え、一体的に守っていく考え方

目指す姿

- 人の健康、動物の健康、環境の健全性を一体のものとして捉え、様々な問題を自分事の課題として認識しながら解決策を考えることができる
- 人の健康、動物の健康、環境の健全性のより良い在り方について、相手の立場や問題の背景など広い視点を持ち、他者と話し合うことができる
- 人の健康、動物の健康、環境を一体的に守るために、これまでの経験、個人や社会の目標に照らして、自ら実践(見通し、行動、振り返り)することができる

高等学校段階

個人及び社会生活とつなぐ より総合的に

個人の生活とともに、社会生活とワンヘルスのつながりを考える

ワンヘルスについて、広い視野や大きな観点から全体をつなげて理解する

中学校段階

個人生活とつなぐ より科学的に

個人の生活とワンヘルスのつながりを考える

ワンヘルスについて、背景などを踏まえて理解する

小学校段階

身近な生活とつなぐ より実践的に

身近な生活とワンヘルスのつながりについて考える


ワンヘルスについて、自己の生活や体験活動に基づいて理解する

ワンヘルス教育の学び方の系統

中学校段階におけるワンヘルス教育の例

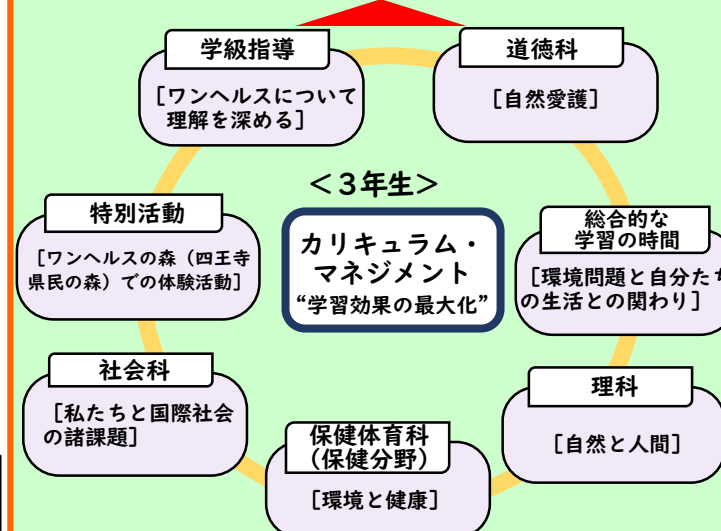
<期待される行動変容(例)>

- 自身の生活習慣を見直す
- リサイクルと廃棄物の削減に取り組む



命のつながりを維持していくために、ワンヘルスを大切にしていこう。

環境の健康もワンヘルス。自分にもできる取組を心がけることが大切だな。自然環境を守っていこう。



ワンヘルス教育のポイント

- 既存の学習をワンヘルスの視点から捉え、教科等横断的に進めていくこと
- 教科等の学びとワンヘルスのつながりが実感できるよう、対話活動や体験活動を積極的に取り入れること
- ワンヘルスに関する人的又は物的な資源等を活用すること

なぜ、今、ワンヘルス教育なのか？

近年、世界各地で発生している異常気象や大災害。また、新型コロナウイルス感染症や新型インフルエンザといった新たな感染症の発生など、世界では私たちの想定を超えた出来事が頻発しています。

このような時代においては、人・動物の健康や環境保全についての課題解決に向け、他者とのかかわりや体験等をもとに、最適解を導き出し、自らの行動につなげていくといったワンヘルス教育の考え方が大変有用と考えます。

そして、このことはまさに、「持続可能な社会の創り手の育成」や「ウェルビーイングの向上」といった今日の教育の方向性と合致するものになります。

※ウェルビーイングとは、多様な個人だけでなく、地域や社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態であることを含む包括的な概念です。そして、子供たちの幸せが家庭や地域、社会に広がり、世代を超えて循環していく姿を目指しており、ワンヘルス教育においても重要な概念です。

「福岡県ワンヘルス推進ポータルサイト」

「義務教育課ポータルサイト」

ワンヘルスに関する情報はこちらから



学校における「ワンヘルス教育」について(関連施設)

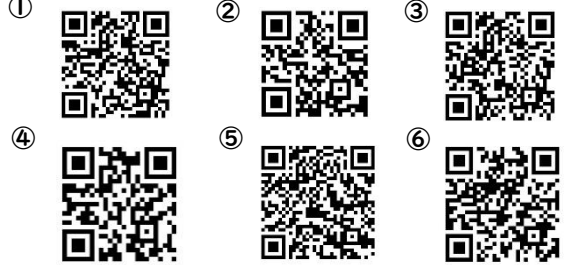


ワンヘルスぼうや

©公益社団法人福岡県獣医師会

県内には「ワンヘルス」に関連する多くの施設があります。ぜひ、子供たちと一緒に、「触れて」「見て」ワンヘルスを体感してください。

「ワンヘルス関連施設情報」



「ワンヘルス啓発施設等
学び・体験プロモーション動画」



① <ワンヘルスの森> 〔四王寺県民の森〕 (大野城市・太宰府市・宇美町)

ここが魅力!

体験コースでは、ワンヘルスガイドのもと森林セラピーを体験できます。ミュージアムでは、「ワンヘルスって何?」を楽しく学ぶことができます。



「ワンヘルス体験コース」 「ワンヘルスミュージアム」

② <福智山ろく花公園> (直方市)

ここが魅力!

四季折々の花々や野鳥の姿など、豊かな自然を楽しむことができます。また、ドックランスペースが整備されており、触れ合いを通して身近な動物との関係を学ぶことができます。



③ <ワンヘルスの森フォレストアドベンチャー・添田> (添田町)

ここが魅力!

施設で遊ぶだけでなく、ビオトープに実際に生息する生き物に触れて学ぶことができます。



④ <大牟田市動物園> (大牟田市)

ここが魅力!

「動物福祉を伝える動物園」をコンセプトとした動物園です。動物が野生下で行っている多様な行動を見ることができます。



⑤ <ワンヘルスセンター> (みやま市)

ここが魅力!

ワンヘルスの課題に対応する実践拠点として、全国初の「ワンヘルスセンター」を整備し、先進的な調査・研究や専門人材の育成などが進められます。※令和9年度中の供用開始を目指しています。



⑥ <バイオマスセンターフルン> (みやま市)

ここが魅力!

生ゴミなどをバイオマス資源として循環するための施設です。生ゴミ処理や、メタン発酵発電の過程を見学できます。

